

## 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

### 1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和7年7月1日 ~ 10月14日

### 2 受審事業者情報

#### (1) 基本情報

名 称	社会福祉法人育木会 薬園台・学びの保育園		
(フリガナ)	シャカイフクシホウジンイクキカイ ヤクエンダイ・マナビノホイクエン		
所 在 地	〒 274-0077 千葉県船橋市薬園台5-6-7		
交通手段	京成松戸線 薬園台駅下車徒歩2分		
電 話	047-402-4680	F A X	047-402-4681
ホームページ	<a href="http://yakuendai.manabien.net">http://yakuendai.manabien.net</a>		
経 営 法 人	社会福祉法人育木会		
開設年月日	2016年4月1日		
併設しているサービス	なし		

#### (2) サービス内容

対象地域	船橋市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	6	9	14	14	14	14	71		
敷地面積	478.82㎡			保育面積			3998.92㎡		
保育内容	0歳~5歳児 保育		障害児保育		延長保育		産明け保育		
	幼児組 異年齢保育								
健康管理	視診・看護師による健康管理								
食事	視診・アレルギーに配慮した給食								
利用時間	月~金曜日 7時~19時/土曜日 7時~18時								
休 日	日曜・祝日・年末年始								
地域との交流	地域交流・夢くらぶ								
保護者会活動	なし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		16	13	29
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	25	1	0	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	0	3	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	船橋市に申請	
申請窓口開設時間	船橋市	
申請時注意事項	船橋市の規定による	
サービス決定までの時間	船橋市の規定による	
入所相談	園見学・入園説明会・園長、保育士面談	
利用代金	船橋市の規定による	
食事代金	幼児、副食費をエンペイを通して集金	
苦情対応	窓口設置	
	第三者委員の設置	園のエントランス掲示

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【理念】 子どもの「心の足腰」を育み、ひとりひとりが生き生きと輝く社会を実現する。</p> <p>【保育方針】</p> <p>①子どもが毎日健やかに生き生きと活動できる園 ②体験学習をベースに「心の根っこ」を育てる園 ☆周囲に感謝の気持ちを持ち、協同的な活動ができる子ども ☆自分で考え動くことができる子ども ☆自ら起こった出来事を素直に受け止め前向きに解決しようとする子ども</p> <p>③保育者や保護者も豊かな気持ちを育むために子どもと一緒に学び合える園 ④地域の方々との交流や自然現象とも深く関わり、共に学ぶことができる園</p>
<p>特 徴</p>	<p>○体験を通して学ぶことを大事に考えています。（積極的に戸外に出て遊ぶ、地域や社会とのかかわりを大事にする、食育や収穫体験等） ○専任の講師による体操指導を行い、丈夫な体をつくります。 ○様々な分野の専門家やプロの講師を呼び、実際に体験するイベント「夢くらぶ」を運営しています。（年に2～3回） ○育木会オリジナルの運動神経向上に繋がる40の動きを取り入れた「まなびのあそびたいそう」を取り入れています。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>【学びの保育園の学ぶとは】 「学ぶ」の語源は「真似部」という言葉です。真似ぶとは真似をするという意味ですね。子どもはみんな真似っこが大好きです。「真似る」は自分の「やってみみたい」「できるようになりたい」という気持ちの表れです。乳児組は大好きな先生を真似てみたり、幼児組は年上の子に憧れて真似てみる。園内は真似から始まる挑戦が溢れています。生活そのものが真似るからの学びの連続だと思えます。</p> <p>【子どもの意思を尊重すること】 こどもの「やりたい」を「危ないから」「まだ早い」「この子には難しいかも」と大人が止めてしましがちです。安全で清潔な環境を保障することは大事なことですが「自らやってみたい！知りたい！」という気持ちがある時は子ども自身の目で見て心で考え、実際に取り組み怖れずに挑戦していく機会を作っていくことも同じくらい大事だと思っています。それを私たちは「安心と挑戦の循環」と掲げ、実践しています。</p> <p>【ともに成長しあうこと】 「自分はかけがえのない存在」であることに気付き、心の根っことなる大事な部分がゆるぎなく生き生きとその子らしく輝いている。そんな子ども達がたくさん育つ場として、保育者も保護者の皆様も地域の方々も巻き込みながら、ともに学び合い、育ちあうことのできる保育園にしたいと思っています。ひとりひとりが尊重される保育を目指し、年齢の枠に捉われず、その子の長所を伸ばしていくために「異年齢保育」に挑戦しています。クラスの枠を超えた交流は園全体で行われ、いろんな友達と関わり合えることで、嬉しさや楽しさも共有し合っています。</p>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

### 葉園台・学びの保育園

特に力を入れて取り組んでいること
<p>1. 一人ひとりを尊重する保育を実践しながら、こどもの主体性を育てている</p> <p>こどもの主体性を育てるために、園全体でその子のありのままの姿を受け止め、丁寧な保育を心がけている。重要視しているのは乳児からの積み重ねであり、例えば、鼻を拭く時にも「鼻水が出るから拭こうね」と声をかけてからおこなう等、こどもが自分で感じ、考えるきっかけを意識的に作っている。また、異年齢保育を取り入れ、毎日の生活や多様な体験を通して学び合える環境を整える中、自分で考え、自己決定できる力を養うことを大切にしている。職員間では自分を出せない子にも意思がある事を理解し、こどもと同じ目線で考える姿勢も共有した。この積み重ねは「人間力(=心)の育成」につながっていくと考え、「7つの学びプログラム」として具体的な保育内容を掲げ、検証しながら進めている。アンケートでも「こどもが楽しそうに園の話をしている」等の声があり、保護者の満足度も高い。</p>
<p>2. 職員の主体性を尊重した園運営に努め、働き易く働き甲斐のある職場が実現している</p> <p>園長の方針は職員の「やってみたい！」とチャレンジする環境を整え「話しやすく、意見の言い易い」雰囲気を作り、「指示命令でなく自分で考える」職員の主体性を大切にしている。職員からも「やってみたい思いを否定せず、共感してくれる」「各クラスでアイデアがたくさん出ている」「子どもの主体性も、先生の主体性も大事にしようとしてくれる」などの意見が多く寄せられ、働き易く働き甲斐のある職場が実現している。職場環境の改善が保育理念「子どもの『心の足腰』を育み、ひとりひとりが生き生きと輝く社会を実現する」に一步近づき、生き生きとしたこどもの成長や保護者との会話増に結びつき信頼関係の向上につながっていると思われる。今後さらに保育理念や方針・目標の実践が深まり、職員の成長を期待したい。</p>
<p>3. 保育者と専門職員の協力体制が整っており、職員間の連携のもとで豊かな保育が展開されている</p> <p>全体的な計画に基づき、保育者は看護師や栄養士と「こどもの今をどのように次に繋げ育ていくべきか」を話し合いながら、食育計画や保健指導計画を作成している。看護師は登園時や午睡時の毎日の巡回の他、各クラスで食事をしながら手洗いや食べ方等生活の様子を保育者と共有し、こどもの状況に合わせて保健指導をおこなっている。栄養士もまた、食事時にクラスを巡回してこどもの喫食状況を把握し、保育者と共有しながらクッキングや郷土料理をアレンジして提供する等、楽しい食事を心掛け食育に取り組んでいる。保育者と専門職員の協力体制が整っており、職員間の連携のもとで豊かな保育が展開されている。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>1. 主体性を通してこどもに何が育つのか学びを重ね、さらなる保育の質の向上を期待する</p> <p>異年齢保育を開始して3年目であり、その中でこどもの主体性を育てるために、話し合いや様々な研修を重ねている。発達の道筋やこどもとの関わり方、環境の作り方等を学ぶことで、職員の意識は高く、こども一人ひとりを大切にする姿勢や、手作り玩具等、こどものために楽しみながら保育準備する姿が確認できた。今後は活動や保育士の関わり方の根拠となる発達やねらいについてさらに学びを重ね、保育理念とも照らし合わせながら共有する事で全職員が一丸となって保育にあたる事が望まれる。同時に保護者にもわかりやすく可視化して知らせ、保育への理解度の向上と連携を図る事で、さらなる保育の質の向上が期待できる。</p>
<p>2. 自己評価に基づく個人目標を育成計画として具体化し、職員育成に活用するように望みたい</p> <p>常勤・非常勤全職員が理念推進、園目標、保育の実践・チームワーク等25項目を自己評価シートに基づいて自己評価を実施し、個人の目標と反省を記入した上で、園長の個人面談を受け、モチベーションの向上を図っている。今後、個人別目標は個人別育成計画として能力向上目標を具体的に示し、園の研修計画と整合した職員一人ひとりの育成計画を策定し、職員自己評価が職員育成に活用される様に望みたい。</p>

### 3. 保護者との情報共有のあり方を改善し、コミュニケーションの促進が望まれる

職員は送迎時の会話や連絡アプリ、個人面談等を通してコミュニケーションを図りながら保護者の意向や要望を把握するよう努め、今回実施した保護者アンケート調査では総合満足度は87%と高い評価であった。一方、「忙しそうで相談しづらい」「お迎え時に少しでもエピソード等があれば嬉しい」等の要望があり、保護者との情報共有のあり方を改善し、コミュニケーションの促進が望まれる。

#### (評価を受けて、受審事業者の取組み)

葉園台・学びの保育園は、子どもだけでなく保護者も保育者も居心地の良い場になるように、日々努めております。保育の可視化を目指し「おうちえん」を導入し少しでも様子を感じていただけるように配信していますが、保育の理解促進のためにはもっと保育者の思いを伝えていくことが課題となりました。同時に保護者の皆様にわかりやすい掲示の仕方も工夫していきたいと思っております。今回、このような評価の機会に保護者の皆様の満足度ややりがいをもって働く職員が多いことを知ることができ大変嬉しく思います。これに甘んじることなく更に満足度が高まる園になるよう、職員間で課題を改善するための話し合いを設け、より良い園運営を目指していきたいと思っております。

福祉サービス第三者評価項目（薬園台・学びの保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	
				7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	4	1
				8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1
		II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4					
12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4					
13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4					
2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み			14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	
				15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	
3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	
				17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	
4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	
		項目別実施サービスの質	20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4		
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6		
			26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6		
			27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	4		
			28 家庭との連携が十分図られている。	3		
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3		
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3					
子どもの健康支援	31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3				
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4				
5 安全管理	食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5			
		環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	4		
			35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	3		
6 地域	災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6			
		37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5			
計				157	2	

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人全体研修で理事長より保育理念・目標・方針を伝え、職員同士で話し合い、非常勤職員も園長から研修内容を伝え、全職員が理念を基に保育にのぞみ、迷った時は理念に立ち戻り振り返るようにしている。全体的な計画に「保育理念・保育目標」と「7つの学びのプログラム」を明記し、養護と教育の5領域に年齢別に展開して、各年齢ごとの年間指導計画、月間指導計画、週案を職員が話し合っって作成している。理念推進チームを作り、理念に基づく「7つの学びのプログラム」を職員間で話し合い共通理解を深め、日々の保育実践を一人ひとりのこどもの遊びと学びを振り返ることで、主体性を育む保育の理解を深めている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の保育理念・目標・方針、「7つのプログラム」が記載された入園のしおりを用いて入園前の保護者説明会で説明し、毎月の園だよりには具体的な保育内容やねらいを案内している。保育実践の取り組み内容は日々の連絡アプリと会話で保育内容と子どもの様子、成長を伝え、保育参観や個人面談を通して保育の取り組みに対する理解を深めて頂いている。今回実施した保護者アンケートでは「保育目標や方針」理解は97%であり、園の努力が確認できる。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的の説明し、全職員に周知されている。
<p><input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。</p>	
<p>(評価コメント)</p> <p>今年度重要課題は①保育の質の向上として「一人ひとりが尊重される保育」を重点に取り上げ、こどもだけではなく、保護者、保育者がお互いのありのままを認め合い、自己肯定感を育み、理念保育の実現につなげること ②職員の育成として月案等も職員同士で話し合い作成し、話し合うことによる気づきの向上と信頼関係の向上に努めること ③保護者に連絡アプリや対話、保育参観などで保育内容を伝え理解を深めて頂くこと ④地域貢献として園の専門性を園開放などを通じて地域子育て支援に貢献することを設定している。なお、重要課題は職員が参画して策定し、全職員で共有し、振り返ることが望ましい。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>余裕ある職員配置、ICT化、時間休導入、有給取得配慮、定時勤務終了に努め、職員一人ひとりのプライベートを大事にしている。キャリアアップ研修を積極的に受けられるように進め、研修報告で共有し合うことで園全体の保育の質の向上を目指している。園長は現場が困っていることをよく聞き、年2回非常勤職員を含め、全職員の面談を実施し、悩みなどを聞き働きやすい職場づくりに努めている。職員会議などで発言しやすく職員全員の意見を聞くように心がけ、指示命令ではなく、自分で考えて仕事を進める職員の主体性を大切にしている。退職者は少なく、職員アンケートでも話しやすく相談しやすく、チームワークの良い職場であるとの発言が多くみられる。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員倫理規定を掲示し、職員には入社時に守秘義務、個人情報保護などについて説明し、誓約書を交わしている。非常勤職員も含めた全ての職員が園で知り得た情報やプライバシー保護について周知・徹底している。園内研修にて子どもの最善の利益・権利、子ども主体の保育を学び合い、倫理及び法令順守の徹底を図っている。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人管理体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p><input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。</p>	
<p>(評価コメント)</p> <p>働きやすい職場づくりのため余裕のある職員体制づくりに努め、職員が不足するような状況がみられた時にはさらに人材確保に努めている。ノンコンタクトタイムを導入し、保育を離れ1時間ゆっくと休憩をとれるよう配慮し、時間休、残業なし、産休・育休がとり易く、こどもの行事等で休み希望が重なった際にも職員同士が協力し合いながら休暇が取れる体制がある。今回実施した職員アンケートにも「こちらがやりやすいように気遣ってくれる」等の意見が見られた。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 法人として職員のキャリアパスを明示し、職級制度別に役割と能力が定められている。非常勤職員も含めて年2回、理念推進・園目標・保育の実践・チームワーク等を自己評価し、課題や目標を確認し話し合い育成に努めている。また、個人面談を実施し、目標や希望、悩みなどを聞き支援に努めている。公平・公正な評価と透明性を確保し、職員理解の基、共有して一人ひとりの育成に努めている。今後、評価基準や評価方法の明示など、適切な人材育成や評価を進めて行くことが望まれる。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 人材募集は法人本部がおこなっている。園でも実習生2名が採用に繋がり、掲示板の活用や職員の知り合いにも声をかけるなどの努力をしている。法人として国が定める配置基準プラス1名の職員を配置し、保育補助員2名を採用することにより職員体制にゆとりがあり、有給休暇も取得しやすく、メンタル面でのケアもできている。また、年2回の園長・主任面談をおこない働き方などの悩みを相談しやすいシステムができている。ICT化を進め、残業なし、育児・介護制度、時間休の導入など、長く働ける環境づくりが行われている。法人として現在の国基準の職員配置+1名を2名にする計画を検討中など、職員のやりがいと労働環境の整備に取り組んでいる。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 園内研修は園の課題を基にテーマを設定し「保育のすり合わせ」「保護者目線、こどもの目線、先生目線」「保護者の立場に立った支援」「園の改善点」など、職員主体で話し合いを実施している。グループワークでディスカッションを繰り返すことで、方向性が明確になり、保育の価値観の共有につながっている。園内研修で話しやすい雰囲気は日々の保育の振り返りに反映され、実践につなげる大切な時間となっている。また、法人全体研修では理念に基づく「教えない保育」など実施し、チームビルディング研修は園長・主任・副主任・中堅層のモデル、新入職者研修と階層別に話し合い、意識を高め合っている。キャリアアップ研修受講を積極的に勧め、職員間で共有している。法人全体研修、階層別チームビルディング研修、園内研修など、多くの研修の機会があり、日々の話し合いによる保育実践の振り返りと共有など、学ぶ機会が多く、職員の保育に取り組む意欲が高い。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 保育士倫理綱領を掲示し、こどもの権利条約を全職員で共有し、こどもの権利を守る事の大切さを確認している。自己評価チェックリストを使用して非常勤職員も含めて全職員で保育の振り返りを行ない、子どもの権利を尊重した関りに努めている。「言葉かけ、子どもへの接し方、立ち振る舞い」等、子どもへの接し方を振り返り、園内全体で共有している。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報保護規定を定めホームページや入園のしおりに掲載している。保護者には入園時に重要事項説明書にて個人情報収集・使用について説明し同意を得ている。職員に対して法人の事例を基にした研修を実施し、個人情報保護等を確認し徹底している。実習生、ボランティアにもオリエンテーション時に説明し周知・徹底している。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 保護者の意向や要望は、日々の送迎時の会話や連絡アプリ、個人面談等で把握できる様に日常のコミュニケーションを大切にしている。意向や要望は職員会議等で話し合い実行し、保護者に丁寧に報告するようにしている。今回実施した保護者アンケートの結果は総合満足度87%、大変満足回答が46%と高い評価であり、14問の個別項目も高い評価であった。代表的な自由発言では「虫の飼育観察や野菜の栽培が良い」「毎日のびと楽しく過ごせている」「工夫した保育のお陰でこどもの満足度は高い」「より良い保育を求めて日々努力されている」などと感謝の声が多い。要望として「園での様子を教えて欲しい」との声が見られた。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 重要事項説明書に相談・要望・苦情窓口、苦情解決責任者及び第三者委員を明記し保護者に交付すると共に、入園説明会等で苦情や意見を受け付ける仕組みを保護者に伝え周知を図っている。また、玄関内にも苦情解決制度を掲示している。相談、苦情があった際には担任、主任、園長がそれぞれ案件に応じて対応し、問題解決を迅速におこなえるよう心がけている。今回の保護者アンケート「苦情等の窓口になっている職員を知っていて、言いやすいですか」の設問では「はい」回答が44%であり、苦情解決制度の更なる周知が望まれる。		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
職員は年間2回自己評価を提出し、その後園長・主任と面談をおこなう事で次への課題を明確にしながらか職務にあたっている。園長は保育現場に入りながら職員の働きかけや保育の様子を見て、具体的に良かった点や改善点について伝えるよう心がけており、職員一人ひとりに寄り添う姿勢で面談している。また、保育の質の向上のためには、職員が組織の中の一員であることを自覚しながら職務にあたる事が大切と捉え、自分のクラスだけでなく全体に目を向けられるよう、また、傾聴の姿勢の大切さについても機会を捉えながら伝え、前向きなフィードバックが組織の中でできるようにしている。			
15	提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
業務マニュアルは、安全・緊急対応・感染症・アレルギー・人権擁護・防災等のリスクマネジメント関係が整備されており、年度当初に共通理解するとともに、非常事態発生時の初期行動マニュアルの小冊子が職員に配布され、すぐに活用できるようにしている。また、保育の基本マニュアルとして「発達の道筋」を作成し、基本的な生活習慣や遊びの内容についてまとめ、研修で学び合ったり、保育の目安として常時活用している。新人育成についてもメンターがついてマニュアルに沿って育成できるようにしている。マニュアルの見直しは年度末に全職員で実施し、次年度につなげている。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
保育園への問い合わせや見学者対応については基本園長がおこない、主任は代行対応している。問い合わせについてはその都度丁寧に対応し、見学希望はあらかじめホームページや電話で予約を受付けている。入園希望の場合には見学必須としているため、希望者は多いが、丁寧に対応を可能にするために1日の受け入れ組数については制限している。園の保育方針や日々の保育の様子については、ホームページやインスタグラムにわかりやすく載せており、見学の機会には保育の様子も見てもらいながら、生活や遊びの様子、行事の考え方、異年齢保育の良さなど、丁寧に伝えている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園時説明会において、入園のしおり・重要事項説明書をもとに保育方針や保育内容、基本的ルール等について説明し、理解を得られた後に同意書を提出してもらう。説明会の実施方法については、各家庭がしっかりと聞けるよう、リモートを利用し、その後個人面談をおこなう中で疑問点や質問事項について応えるようにしている。面談は保育面談と事務面談があり、看護師や栄養士との面談も可能なため、保護者のニーズに合わせた話ができています。また保護者から出された質問や意見等の内容については、各場面で記録されているが、今後は振り返りで活用できるよう統一した記録簿を作成するなど工夫も望まれる。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協働体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は保育所保育指針を踏まえ、法人の保育理念、目標、方針をもとに作成している。こどもの様々な体験や経験活動を通して自己肯定感を育み、自信を持って生活すること、挨拶を基本に交流を広げながら自分の思いや意思を相手に伝えたり、聞いたりする力を育てること、またその力を基盤に、友だちとやり遂げる「協同性」を培うことを大切に考え保育目標を設定している。計画作成にあたっては、計画が各年齢の発達過程に沿いながら連続性のある内容になっているか、こどもや地域の実態に沿ったものかを視点におき毎年全職員で見直している。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づき、年間指導計画、月案、週日案を作成し、長期的・短期的な見通しを持って保育を実施している。乳児、1・2歳児、また配慮が必要なこどもに関しては個別指導計画があり、パソコン上で個々の月ごとの発達が追えるような工夫をしている。また、食育計画や保健指導計画はこどもの状況に合わせて立案され、保育者と連携して取り組めるように配慮されている。週日案はこどもの実態に合わせて作成され、保育日誌の振り返りにつなげており、保護者に毎日アップされる写真付きの活動報告とともに、こどもの今を次にどのようにつなげ、育んでいくべきかを話し合い、共有し可視化できるよう努力している。			

20	<p>子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりを受容し、子どもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>月に1度の月案会において子どもの姿を職員間で共有し、保育環境のあり方や関わり方等について、子どもの目線に立って考え、見通しを持って保育にあたるよう心がけている。各クラスには子どもの発達や興味関心に添った玩具がいつでも遊べる状態で設定しており、手作り玩具も多い。3歳以上児における活動の取り組みに関しては、子ども同士で話し合いながらやりたいことを出し合い、協力してやり遂げる姿を大切にしている。夏のお楽しみ会では、プラネタリウムの上映や、うどん・パフェを保護者と食べることなど、やりたいことを具現化できるようサポートすることで、達成感や満足感を味わう姿が見られている。</p>		
21	<p>乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>愛着関係の確立を意識しながら、子ども一人ひとりを大切に丁寧な保育を心がけている。子どもの状況によって職員の人数を増やしたり、生活の場所を発達に応じて手作りのパーティションで区切り、遊びや睡眠、離乳食等がスムーズにできるよう工夫するなど、常に話し合いながら環境を整えている。また、丁寧な関わりとは何かについても話し合い、例えば鼻を拭くときにも、黙って拭かずに「鼻拭くよ」と声かけしてから拭く等、職員が意識して取り組めるようにしている。子どもの情報共有については午睡時間等を利用して話し合い、アプリに載せることで全職員が共有できるようにしている。</p>		
22	<p>1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(子どもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>生活面では無理強いすることなく、子ども自身で気持ちを切り替えたり、自分でやろうとする気持ちが育まれるよう一人ひとりに寄り添った保育をしている。またそのために見通しを持った保育を心がけ、じっくり取り組める場所や時間の確保にも配慮している。遊びの面では子どもの動線や玩具の配置を考慮し、探索活動が十分できる場所も選びながら、友だちや保育者と遊ぶ楽しさが味わえるようにしている。自我の芽生えへの対応についても喃語を言語化しながら寄り添い、少しずつ相手の気持ちに気づけるよう心がけている。午睡時などに共有した情報は写真等で保護者に配信し、子どもの遊びや成長の過程が可視化できるようにしている。</p>		
23	<p>3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>子ども同士の自然な関わりが広がるよう異年齢保育を取り入れる中、年上年下の固定概念を無くし個々をよく見ることで、子ども一人ひとりの良さが再発見できている。保育者は成長発達の道筋を押さえながら、その子にとって今、何が必要かを考え保育にあたっている。また、子どもが自分で考え、自分で決めて行動する姿を大切に、時には援助しながらできた喜びや達成感が味わえるようにしている。子どもの情報共有は午睡時等におこない、保護者には子どもの活動内容がわかる写真やコメントを毎日のアプリで配信するとともに、必要に応じて個別に連絡帳等でお知らせをしている。また、相談等があればいつでも対応できるように体制を整えている。</p>		
24	<p>身近な自然や地域社会と関われるような取り組みがなされている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園ではメダカ・クワガタ・カブトムシ・アゲハの幼虫・アリ・ダンゴムシの飼育をおこなう中で、生命を尊重する心を大切にしている。また、野菜を育てて収穫する体験もあり、今年度は交通機関を使ってサツマイモの苗植えに出かけ収穫体験もする予定である。近所の高齢者の方や公民館等でのイベント等を通し地域の方々との交流の機会もある。散歩や遊びの中では、自然の中での発見や興味を広げ、友だちと一緒に考えたり工夫したり追求したりする姿を大切に見守り、知的好奇心や集中力等様々な子どもの力が育めるよう心がけている。</p>		

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>異年齢保育を実施する中で、年齢でこどもを判断するのではなく、目の前にいる子のありのままを受け入れ保育するという姿勢を心がけている。また、いろいろな友だちと遊ぶ経験から、見たり真似たりして刺激を受けあう姿を大切にしている。そのためにこどもと同じ目線で考える努力をし、一方的な指示ではなく一緒に考えながらこども自身が自分で考え自己決定できるよう援助している。トラブル対応についても見守りながらこどもの思いを共有し、こども同士で解決できるようにしている。ルールや役割分担等も、話し合いの場を設けながら一緒に考えて進め、友だちと協力しながらやり遂げる喜びを感じられるように配慮している。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>配慮を必要とするこどもには個別計画を作成している。日々の記録からクラス会議や乳幼児会議、職員会議でこどもの姿や育ち、保育者の関わり、目標等話し合い、園全体で共有して援助をおこなっている。年2回、こども発達相談センターの巡回指導を受け必要に応じて助言を受けている。また、専門機関に通っている保護者から報告を受け情報を共有すると共に、連絡帳での情報交換や個人面談をおこない支援に繋がっている。担当保育者はキャリアアップ研修に参加し知識や技術の習得に努め、研修報告や園内研修で共通理解を図り、保育に活かしている。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>延長当番の保育者は保護者からの伝達やこどもの健康状態を引継ぎ簿やアプリに入力し、漏れないよう全体に共有している。延長保育の情報共有は職員会議や園内研修でおこない、問題点の改善や年齢に合った遊び、玩具の選定、季節を考慮した遊びを検討し、安心・安全に過ごせる環境づくりに取り組んでいる。夕方6時より1歳児保育室で保育をおこなうため、パズルや塗り絵など年齢に合わせた延長保育用の玩具を用意し、一人ひとりのペースで好きな遊びを楽しめるよう配慮し、保護者のお迎えまでゆったりとした気持ちで過ごせる環境づくりを心掛けている。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育者はこどもの姿や健康状態、エピソード等を送迎時に伝えると共にアプリ配信している。また、保護者の思いを傾聴し、こどもの成長を共有するよう努めている。保護者会は年2回、保育参加・参観は年1回、1日に2〜3名ずつ実施している。個人面談については5歳児と希望者を対象に実施している。今回の保護者アンケート調査では総合満足度が87%と高い評価であった一方で「忙しそうで相談しづらい」「お迎え時に少しでもエピソードがあれば嬉しい」等の要望があり、特にお迎えが集中する時間帯の改善と保護者の声を聴く体制づくりに期待したい。また、異年齢保育を開始して3年目という中で、保護者会やアプリ配信で「自由選択的な保育」や「こどもの育ち」等について説明をしてきているが、「持ち物のルールが頻りに変わる」「親側の気持ちは考慮されない」等の意見が聞かれるため、丁寧な説明を続け保護者の理解を得ることが望ましい。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>小学1年生との交流や学校探検、高齢者の方との昔遊び、消防署や店屋に出かけ見学や買い物することで地域の方々と繋がる機会を作っている。また、散歩時に挨拶したり声を掛けられることで、話をする機会が増え交流が深まっている。勤労感謝の日には、こども達が誰にありがとうを伝えたいかを話し合っ決め、手作りのプレゼントを届け感謝の気持ちを伝えている。また、卒園児が園に遊びに来てくれることも多く、掃除や作業を手伝ってくれたり、園児の質問に答えてくれたりなどの交流もおこなわれている。今年度は3歳以上児と薬園台高校との交流も予定している。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者の不適切な発言やこどもから気になる発言があった時には園長・主任に報告し、保護者との会話から親子の様子を確認し、状況に応じて家庭児童相談室に報告している。虐待が疑われる場合には園長に報告し、継続観察すると共に記録や写真に残し、家庭児童相談室と連携を図る体制が整っている。園内研修で虐待や職員による虐待行為などを学び、意識の向上に繋げている。連絡帳などで保護者が疲弊している様子が見られた時にはお迎え時に話を聞き、保護者が前向きになれるような言葉掛けに努めている。</p>		

31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
看護師は保育者と話し合いをしながら保健指導計画を作成し、子どもの状況に応じて毎年見直しをしている。毎月の身体測定、嘱託医による年2回の定期健康診断、年1回の歯科検診を実施している。看護師は朝、午睡時、食事時に各クラスを巡回し、触診や目視による観察、保育者と情報交換をおこない、子どもの健康管理に努めている。保育者は午睡時の呼吸チェックを0歳児は5分毎、1歳児は10分毎、2歳児は15分毎に実施し、乳幼児突然死症候群の事故防止に努めている。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
登園時に保護者から子どもの健康状態や機嫌等を聞き取り、心身の状態を把握している。保育中の体調の変化を観察し、いつもと違う様子があった場合には保護者に状況を知らせ、熱や食欲、顔色等改善しない場合や38度以上になった場合にはお迎えを依頼している。感染症対策として手洗いの励行や手を触れる場所は次亜塩素酸でこまめに消毒をおこない、清潔や衛生管理に努めている。感染症発症時には職員、保護者へアプリ配信し共有を図っている。また保健日より感染経路や潜伏期間、症状等の情報を提供し蔓延防止に努めている。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
職員は「食べることが心と体の力強さに繋がる」ことを大切に考え、楽しく食事ができるよう無理強いせず、食べる意欲を育てることを意識して関わっている。栄養士は保育者と話し合いをしながら食育計画を作成し、野菜の皮むき、収穫した夏野菜での餃子の皮ピザなどのクッキング、魚の解体ショーなどの食育活動に取り組んでいる。今年度は子ども達が大きな日本地図にボールを当て、ゲーム形式で決めた県の郷土料理を調べる活動をおこない、栄養士がアレンジした郷土料理を提供している。保護者には食育のアプリ配信や「今月のおすすめレシピ」の掲示、給食だよりを通して食育の大切さを伝えている。食物アレルギー児は年1回保護者と面談し、アレルギーの状況や食事の進め方を話し合っている。専用トレーには顔写真と除去品を掲示し、配膳までに7回のチェックとサインの徹底、子どもへの配膳時には園長、主任、看護師が最終確認し、誤食防止に努めている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
園内外の環境整備は、看護師がドアや棚、スイッチ等手に触れる場所の消毒を毎日おこない、保育室の衛生管理をしている。玩具の消毒は0～2歳児は1日1～2回、3歳以上児クラスは感染状況に応じて消毒をおこない、衛生的環境の維持に努めている。保育室の温度、湿度、換気、採光等随時確認し、冷暖房や加湿器を使い快適に過ごせるようにしている。看護師は各クラスを巡回しながら子どもの姿を観察し、その時々々の状況を保育者と共有して「身体について知ろう」「熱中症対策予防」等について、子どもに分かり易い教材を工夫して作り保健指導をおこなっている。園内の壁にはお知らせの手紙やポスター等が数多く掲示されているため、貼り出す時期や内容を見直し快適に過ごせる環境を整えることが望ましい。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
園内外の事故予防チェックリストを作成し、生活安全、水遊び・プール、遠足、散歩、クッキング、自主点検等のチェックリストに基づき点検をおこない、安全対策に努めている。事故発生時には早急に関係職員と発生原因の分析と事故防止対策を検討し、事故報告書を作成した後は全職員に周知している。怪我報告書、ヒヤリ・ハット報告書についても、事故報告書と同様に毎月集計し会議で報告している。特にヒヤリ・ハットについては事故に繋がる前に防げるよう分析し周知するようにしている。門扉は暗証番号を入れると開錠されるシステムを導入し、暗証番号を知らない方に対しては門扉のインターフォンで名前と顔を確認した上で開錠するよう徹底し、外部からの不審者対策を図っている。			

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
年間避難訓練計画を基に地震・火災等の訓練を毎月実施している。園長不在時でも対応できるマニュアルを作成し、様々な時間帯や状況での計画を立て、非常災害発生時に対応できるよう備えている。また、通報訓練や水消火器訓練、年1回の消防署の立ち合い訓練を実施し助言を受けている。緊急時には保護者に一斉配信で状況を知らせることになっており、園外へ避難する際にも掲示板に避難先を掲示すると共に配信することを説明している。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
園の情報はポスターやホームページ、Instagramで積極的に提供している。園の見学者から大変なことや困っていることを聞くことで子育て世代のニーズを把握している。園開放は在園児との交流や地域の親子の交流の場となっている。園開放時に相談を受けることもあり、子育て支援の役割も果たしている。保育者は「挨拶から始まる交流の広がり」を意識して散歩に出かけることで、地域の方々との交流が深まっている。			